

1 題材 「みんなのためにできること～ハッピースマイルプロジェクト～」

学級活動（3）イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

2 題材設定の理由

本題材は、学級活動「（3）一人一人のキャリア形成と自己実現」の内容「イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解」として計画した題材である。学習指導要領解説特別活動編では、この内容において育成を目指す資質・能力の例として「学級や学校のために友達と力を合わせて働くことの意義を理解し、工夫しながら自己の役割を果たすことができるようにすることが考えられる。」とある。

そこで、学級や学校のために自分の役割を果たすことの意義を理解し、みんなのために自分ができることを考えて行動することで、学級や学校の生活の向上に貢献したり人の役に立ったりする喜びを実感でき、自ら取り組もうとする意欲を高めることができると考え本題材を設定した。

本題材を扱うにあたって、自分の役割を果たすことの意義について考える中で、みんなのために働くことは、人の役に立ちみんなが喜ぶだけでなく、自分も嬉しくなり、自分にとってもよいことがあることに気付かせる。そして、人の役に立つことに喜びを感じ誰かの役に立ったと感じられる自己有用感を高めることで、また役に立ちたいと進んで行動しようとする、主体的な活動につながると考えた。

前述のアンケートで、「どんなときに自分がみんなの役に立ったと思うか」という問いについて、困っている人を助けるとき、係活動をしたとき、みんなに協力するとき、と児童は答えている。このことから、児童自身、みんなの役に立つという姿がどのようなものか具体的にイメージできていないのではないかと考える。

「みんなのためにできること」についての見方・考え方を広げることで、学級や学校のみんなのために自分ができることを考え、主体的に行動できるようにしていきたい。当番活動や係活動などで、決められた役割を果たすだけでなく、「教室が汚れていたら進んで掃除をしてみんなが気持ちよく生活できるようにしたい」とか「友達に自分から温かい言葉をかけて、元気づけたい」など、日常生活の中でも、学級生活をよりよくするためにみんなのためにできることを考え、主体的に活動しようとする力を育てていきたい。本時の学習が他学級や他学年の手本となり、来年度高学年として学校をよりよくしていこうという意欲をもてるようになることも期待したい。

3 研究主題とのかかわり

研究主題・研究仮説は以下の通りである。

研究主題

「なりたい自分」に向けて主体的に取り組む力を育てる学級活動
～人の役に立つ喜びを感じる活動を通して～

研究仮説

学級活動や日常の生活において、自己の役割を自覚して活動し、互いに認め合う支持的風土を作ることが、自己有用感を高めることにつながり、人の役に立つ喜びを感じ、主体的に活動する子が育つ

だろう。

・研究の視点① 自己有用感を高めるための工夫

アンケート調査から、役立ち感を感じている児童の多くは、ありがとうと言われたときや、相手が嬉しい気持ちになったとき、ほめられたときなど、相手からの反応によって役立ったことに気付くと考えている。このことにより、活動するだけで終わらず、友達からの言葉等で価値付けたり、人の役に立つ喜びを感じられるようにしたりすることで自己有用感が高まり、さらに、学級や学校のみんなの役に立つために、主体的に取り組もうとするのではないかと考える。そこで、本時では、以前の表現運動発表会壮行会の際に4年2組からもらった手紙や転出・転入児童からの言葉を確認したり、他学級の先生のビデオメッセージを視聴したりすることで、今まで自分たちが行ってきた活動は、みんなの役に立っていることに気付かせ、誰かの役に立てた喜びを感じられるようにする。学級や学校のみんなを笑顔にするために取り組んでみたいことを考えてワークシートに記入した後、隣の友達と励ましのメッセージを互いに伝え合うことで、自分にもできると自信をもたせたい。また、個々に設定したためあて（ワークシート）を日常生活で常に振り返ることができるように、ハッピースマイルプロジェクトコーナーに掲示する。また、活動を振り返る際には、友達の取組に対して感謝の言葉や役に立ったことを伝える言葉をメッセージカードに書き、伝え合う場を設けて称賛したり認め合ったりする言葉を送り合う。そのメッセージカードをコーナーに掲示することで互いの取組にも気付き、日常生活でも自然と認める言葉を掛け合い、自己有用感を高め、継続して主体的に活動できるようにしていく。

・研究の視点② 主体的な活動を自分で見つけるための工夫

「役に立つこと」と言われてもイメージがわきにくいことや、「役に立つためにやる」という意識をもって活動することは難しいことから、自分もみんなも喜ぶことができ（ハッピー）、笑顔（スマイル）になれるようなことという視点で考えるようにする。まず、事前アンケートで、「学級生活を送る中で気になっていること」について考えさせる。次に、気になっていること（課題）を見付け、解決するために取り組めば、みんなの役に立つことができるということに気付かせる。その際、それらの意見を集約した一覧を掲示していつでも見られるようにすることで、日常生活の中でも学級や学校のみんなのためにできることは様々あることに気付き、主体的に取り組めるようにしていきたい。

また、委員会活動やボランティア活動等で学校をよりよくするために活動している6年生から、ビデオメッセージで活動の目的や活動したことで人の役に立てて嬉しかったこと等について伝えてもらう。その6年生のメッセージから、みんなの役に立つために自ら進んで働くことの大切さに気付いたり、思いをもって活動する姿勢を手本にしたりして、自分のできる範囲で取り組めそうなことを考えられるようにする。4年生なので、学校のみんなのために行動することは難しいため、まずは、身近な学級のみんなのためにできることを考えられるように助言する。ただ、学校のためにできることが自分にできそうなことであれば認めることで主体的な活動にも広がりが出ると考える。そして、やってみたいことが同じ児童同士、4、5人のメンバーと一緒にプロジェクトを進めていく。その際、プロジェクトシートを作成し、友達と協働して取り組めるようにする。また、各プロジェクトシートを廊下に掲示することで、他のプロジェクトの友達からもアドバイスをもらい、主体的な活動を継続していけるようにする。一週間ごとに活動を振り返り、自分のよさや達成感、成就感に気付かせ、次の活動への意欲につなげられるようにする。

4 第3学年及び第4学年の評価規準 【自己実現】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考力・判断力・表現力等	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自分を取り巻く集団生活において、人の役に立つことの意義や役に立つためにできることを知る。	学級や学校生活の充実・向上のための課題に気付き、なりたい自分に向けて、自分にできることを意思決定している。	なりたい自分を目指し、学級や学校生活の充実・向上のために、主体的に行動しようとしている。

5 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
○学級生活を送る中で気になっていることを考えて、アンケートに書く。 ○アンケート結果から、友達の考えを知る。	・クラスの児童の意見を集約して伝え、気になることに取り組むことで、誰かの役に立つことができることに気付けるようにする。	なりたい自分を目指し、学級や学校生活の充実・向上のために、主体的に行動しようとしている。 【主体的態度】〈アンケート〉

6 本時のねらい

自分の役割を果たすことの意義を知り、人の役に立つ喜びを感じ、みんなの役に立つために自分に何ができるかを考え、意思決定することができる。

7 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点 ◎目指す児童の姿と評価方法
導 入 つ か む (5)	<p>1 「自分は友達やみんなの役に立っている」というアンケート結果を確認し、課題意識を高める。</p> <p>2 活動に対する他者からのメッセージを知る。 ○4年2組の友達からの手紙 ○SさんやAさんからの言葉 ○他学級の先生からのビデオメッセージ (紙風船プロジェクト)</p> <p>3 今まで取り組んできた、みんなの役に立つ活動を確認する。 ・表現運動発表会応援プロジェクト ・係活動 ・Sさんありがとう元気でねパーティー ・紙風船プロジェクト</p>	<p>・友達やみんなの役に立っていると感じている人が半数もない現状について知り役に立つことについての課題に気付けるようにする。</p> <p>・手紙については、以前もらったものなので、内容は省略し、励ますことができたことを確認できるようにする。</p> <p>・自分達に取り組んできたことで誰かを励ますことができたことに気付き、みんなの役に立てた喜びを感じられるようにする。</p> <p>・今まで学級のみみんなで取り組んできた活動を模造紙に書いたものを見せて想起させ、誰かの役に立つ活動をたくさんしてきたことに気付けるようにする。</p> <p>・今まで、役に立つ活動をしてきたのに役立ち感を感じられていないのは、目的意</p>

	<p>・Aさんよろしくねパーティー</p>	<p>識をもって活動できていないという課題に気付かせ、意欲を高める。</p>
<p>展開</p> <p>さぐる</p> <p>(15)</p>	<p>4 学級や学校みんなのために活動することの大切さについて話し合う。</p> <p>○委員会活動やボランティア活動の6年生のインタビュービデオを見る。 (広報委員会)</p> <p>・活動内容 (例) 正門前の掲示板に毎月の行事予定のお知らせポスターを掲示しています。</p> <p>・何のために活動しているか。 (例) 季節に合ったイラストを工夫して飾りを作って、見ている人に喜んでもらいたいな、と思っています。</p> <p>・活動していて嬉しかったこと (例) 「登校したとき、掲示物を見ると元気が出ます。」とか「毎月楽しみにしています。」と言われたので嬉しかったです。</p> <p><みんなのために活動すること></p> <p>・人の役に立つ。 ・自分もみんなも嬉しくなる。 ・もっとみんなの役に立つことをしたくなる。</p>	<p>・ビデオメッセージから、みんなのためにすることは、みんなも自分も嬉しくなることに気付けるようにする。</p> <p>・ビデオメッセージで、複数の委員会活動において、何のためにどのような工夫をしているか知り、自分にもできそうなことがあることに気付かせる。自分もみんなのために取り組みたいという意欲がもてるようにする。</p> <p>・みんなのために活動することは、みんなにも自分にもよいことがあることを知り自分の役割を果たすことの意義が理解できるようにする。</p>
	<p>5 学級や学校みんなを笑顔にするために取り組んでみたいことを出し合って見つける。</p> <p>○自分で考えてワークシートに書く。</p> <p>・ねがい (○○だからこうなるといいな) 体調がよくない人が増えてきたから、好き嫌いなく給食を残さず食べて、みんなが元気に生活できるといいな。</p>	<p>・「学級生活を送る中で気になっていること」のアンケート一覧や6年生のビデオメッセージ動画から課題を見付け、課題を解決するために自分が取り組んでみたいことを考えられるようにする。</p> <p>・まず、身近な学級みんなのために、自分ができることを考えるよう助言する。</p> <p>・日常生活や係活動、学級生活をよりよくする活動等、様々な視点から、みんなを笑顔にするために取り組んでみたいこと</p>
<p>見つける</p> <p>(15)</p>		

<p>終末</p> <p>決める</p> <p>(10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そのために給食スタンプカードを作る。 <p>○学級全体で話し合う。</p> <p>6 話し合ったことをもとに、これから取り組んでみたいことをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会の前にほうきで床を掃除して、みんなが気持ちよく生活できるようにしたい。 <p>○隣の席の友達と伝え合う。</p> <p>○自分のめあてを、数名発表する。</p>	<p>を考えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活をよりよくするためのことは、自分にできそうなことであれば、認めるようにする。 ・話し合い活動を通して友達の考えを聞き、みんなを笑顔にするためにできることについて、見方・考え方を広げられるようにする。 ・友達の考えや板書を参考にして、自分が取り組んでみたいことを考えるよう助言する。 ・隣の席の友達と自分の考えを伝え合い、付箋に励ましのメッセージを書いて送り合うことで、互いのよさを認め合い、実践意欲を高められるようにする。 ・友達の考えを聞いて考えが変わった児童がいた場合は紹介し、見方・考え方を広げる。 <p>◎学級や学校生活の充実・向上のための課題に気付き、自分にできることを意思決定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから取り組んでみたいことを数名に発表してもらい、めあての修正や活動の参考にできるようにする。 ・取り組んでみようとする意欲を称賛することで、全員が自分の取り組みたいことを肯定的に捉えられるようにする。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>〈ワークシート・発言〉</p>
----------------------------------	---	--

8 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】 <評価方法>
<p>○同じような取組を考えている児童でプロジェクトチームを作り、プロジェクトシートを作成する。</p> <p>○自分の立てためあてや取組などが実践できているか、1週間ごとに振り返り、ワークシートに記入する。</p> <p>○取り組んだことに対して、友達にメッセージを書いて伝えて互いに認め合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協働してプロジェクトを進めていくことで、互いに励まし合いながら主体的に活動できるようにする。 ・「アドバイスカード」や「ありがとうカード」で互いの取組を称賛したり、認めたりするメッセージを送り合うことで、自分のよさや人の役に立つ喜びを感じられるようにして、実践意欲を高める。 ・取組の様子を可視化することで、継続する意欲を維持できるようにする。 	<p>◎なりたい自分を目指し、学級や学校生活の充実・向上のために、主体的に行動しようとしている。</p> <p>【主体的態度】 <ワークシート></p>

9 板書計画

